

SELECTION & SPECIFICATION DATA

一般名	無溶剤形エポキシ樹脂塗料
塗料のタイプ	エポキシ/ 変性脂肪族ポリアミン
一般特性	人と環境に優しい無溶剤形エポキシ樹脂塗料。厚膜型のため、塗装回数の低減並びに工期短縮が可能である。手ケレン、動力工具の処理で塗装が可能である。 地下立体駐車場や屋内等、溶剤等の使用が規制される箇所への使用が推奨される。
特長	<ul style="list-style-type: none"> • 固形分100%、無溶剤型塗料 • 低臭のため、屋内でも使用可能 • 有害重金属フリー • VOC 規制に適合
色相	白、淡彩
仕上げ	グロス
下塗り	カーボガードノンソル (二回塗りの塗装系) など
固形分	容量 100%
固形分	重量 100%
混合物密度	1.42 +/- 0.05 g/ cm ³
VOC	供給状態で : 0 g/ L

塗装方法	乾燥膜厚 (ミクロン/ 回)	理論塗付量 (g/m ²)	標準使用量 (g/m ²)*
ローラー	100	143	160 ~ 190

*: 標準使用量は、被塗物の形状や塗装する部位、被塗面の表面状態、風速・気温等の環境条件、塗装作業者の技量等、種々の条件によって変化する場合があります。詳細はジャパンカーボライン社まで問い合わせること。

ウェット/ ドライ比	1.00 (無希釈)
タレ限界膜厚	200 ミクロン (ドライ)
耐熱性	連続: 93°C (199°F) 断続: 121°C (250°F)
注意点	浸漬される箇所、ケトンやアルコールに長時間接触する箇所には推奨されない。
上塗り	カーボタンノンソルトップ など

下地処理

一般	3 種ケレン (ISO St 2) 以上。動力工具を用いてルーズなさび、旧塗膜、ごみ等を除去する。被塗面は清浄で乾燥していること。
----	---

カーボガード ノンソル

製品データシート



混合および希釈

混合	基剤を動力攪拌し、硬化剤と混合後、均一になるまで動力攪拌する。 基剤、硬化剤は全量を混合することを原則とするが、やむを得ず小分けして使用する場合には、基剤と硬化剤をそれぞれ均一になるように攪拌し、その後正確に秤量し使用する。
希釈	希釈は行わない。
混合比	基剤：硬化剤 = 85：15 (重量比)
可使用時間	5°C: 60 分 10°C: 60 分 20°C: 20 分 30°C: 15 分

塗装機器に関する指針

以下は、本製品を塗装する場合の塗装機器に関する一般的な指針である。塗装現場の状況によっては、望ましい結果を得るためにはこれらの指針の変更が必要な場合もある。

一般	<ul style="list-style-type: none">• 可使用時間が短いため、気温と可使用時間に十分注意すること。• 使用面積に見合った量を混合し、混合塗料は必ず可使用時間内に使い切ること。• 塗料の注ぎ足しを行わないこと。• 塗装に使用したローラーやハケ等の道具は、一回限りの使用にて廃棄すること。
塗装機器	主としてローラー塗装。短毛ローラーの使用が特に推奨される。

塗装条件

条件	被塗面温度	気温	湿度
最低	5°C (41°F)	5°C (41°F)	0%
最高	50°C (122°F)	38°C (100°F)	85%

被塗面温度が露点+3°C を下回る場合は、塗装を実施してはならない。

硬化条件

被塗面温度	硬化	最大塗り重ね可能時間	最小塗り重ね可能時間
5°C (41°F)	16 時間	7 日	16 時間
10°C (50°F)	16 時間	7 日	16 時間
20°C (68°F)	10 時間	7 日	10 時間
30°C (86°F)	8 時間	7 日	8 時間

上表は、乾燥膜厚100 ミクロンの場合である。厚膜・換気不足・低温等の条件では乾燥時間が長くなり、溶剤の閉じ込めや早期の不具合が発生する可能性がある。硬化中の高湿度条件あるいは結露の発生は、硬化の妨げとなり、変退色やくもりの原因となる。くもりやブラッシングは塗り重ねの前に必ず水洗すること。

荷姿、取扱および保管

保存可能期間 | 製造後12 ヶ月 (未開封の場合)

保管条件 | 屋内に保管すること。

荷姿、取扱および保管

正味重量	4 kg セット
基剤	3.4 kg
硬化剤	0.6 kg

	引火点 (°C)	有機則区分	危険物分類
基剤	96	-	4 類3 石 非水溶性液体
硬化剤	93	-	4 類3 石 非水溶性液体

* 安全情報に関する詳細は、安全データシート (SDS) をご参照ください。

更新情報

最終更新 | 2023 年5 月

管理番号 | PDS012-015

付記事項

当社が知る限り、本資料に含まれる技術データは正確ですが、予告なく変更される場合があります。特に記載がない限り、本資料に含まれる製品名・社名はカーボライン社の登録商標です。安全に関する情報の詳細については、SDSをご参照ください。